ご卒業おめでとうございます

令和６年３月１９日に福生市内の中学校、３月２５日には小学校で卒業式が執り行われました。

今年は桜の開花が遅くまだ蕾の状態でしたが、新型コロナ感染症が第五類に移行したことで５年ぶりに制限のない卒業式となり、小・中学校ともに桜の花に負けないくらい大勢の保護者の皆様方が見守るなか、厳かな雰囲気の中にも緊張感漂う素晴らしい卒業式でした。私たち福生市民生委員・児童委員も昨年に引き続き、地域の関係者の方々と共に来賓として参列させていただきました。

中学校では、卒業生は担任の先生から名前を呼ばれると力強く「はい」と返事をして卒業証書を受け取り、背筋を伸ばして壇上から在校生や家族の方を見て、ひと呼吸おいてから前に進んで自席に戻って行きます。義務教育課程を修了し、これからは自分の進路に向かい歩んでいくという、その自信に満ちた姿は輝いて頼もしい限りでした。

小学校では、卒業生は「威風堂々」の曲と共に、胸を張り自信に満ちた姿勢で入場しました。卒業証書授与では、壇上で名前を呼ばれると大きな声で返事をしたあとに「将来の夢や希望・決意」を自分自身と在校生、家族へ力強くハッキリと宣言し、その姿や内容に思わずにっこりしてしまいました。

小・中学校共に最後の「門出の言葉」には、先生方や友達、家族への感謝が随所に溢れる内容でした。涙を堪えながらもはっきりと伝えた「言葉」は立派でした。

これからは今までずっと一緒だった仲間たちと別々の進路を歩まれるわけですが、今まで積み上げた絆は決してほどけることはありません。楽しかったこと、辛かったこと、悲しかったことなど友達や仲間たちと一緒に経験してきたことは、これからの人生において貴重な財産となり大きな力となることでしょう。どんな時も自分自身を信じて、ときにはまわりの方々の力も借り、希望を持って一歩一歩進んで行く。みなさんのこれからの道のりが喜びと成功に満ちたものになるよう祈っております。

ご家族の皆様、私たち福生市民生委員・児童委員は地域の方々と共に、安全で安心して暮らせる社会作りと、子ども達の健やかな成長「こどもまんなか社会」を後押しする活動を続けて参りますので、これからも宜しくお願いいたします。